

試験成績書

熊本市長 幸山政史 様

静岡県藤枝市高柳2310番地
株式会社 静環検査センター
TEL 054(634)1000(代)

平成 20 年 9 月 20 日にご依頼ありました試験結果について報告いたします。

1. 件名

平成20年度 熊本市教育委員会内アスベスト分析調査業務委託
③出水中学校外38校・園アスベスト分析調査業務委託

2. 試料

施設名	天明中学校
採取箇所	管理棟階段室塔屋
試料名	吹付け材
採取日	平成20年9月20日

3. 試験内容

位相差顕微鏡(分散染色法)及びX線回折による定性分析

- ・基発第0821002号 「建材中の石綿含有率分析方法」
- ・基安化発第0821001号 「建材中の石綿含有率分析方法に係る留意点」
(JIS A 1481 「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」)
- ・基安化発第0828001号 「天然鉱物中の石綿含有率分析方法」

<分析を実施した年月日>

分析実施日	平成 20 年 9 月 25 日	～	平成 20 年 9 月 26 日
-------	------------------	---	------------------

<一次試料作成方法>

粉 碎	粉碎器の名称	メノー乳鉢
	標準ふるいの目開き	470 μ m

<分析使用装置>

位 相 差 顕 微 鏡	Nikon E6T-DPH 位相差分散型 対物レンズ 10、40倍
X 線 回 折 装 置	PANalytical X' Pert PRO

4. 試験結果

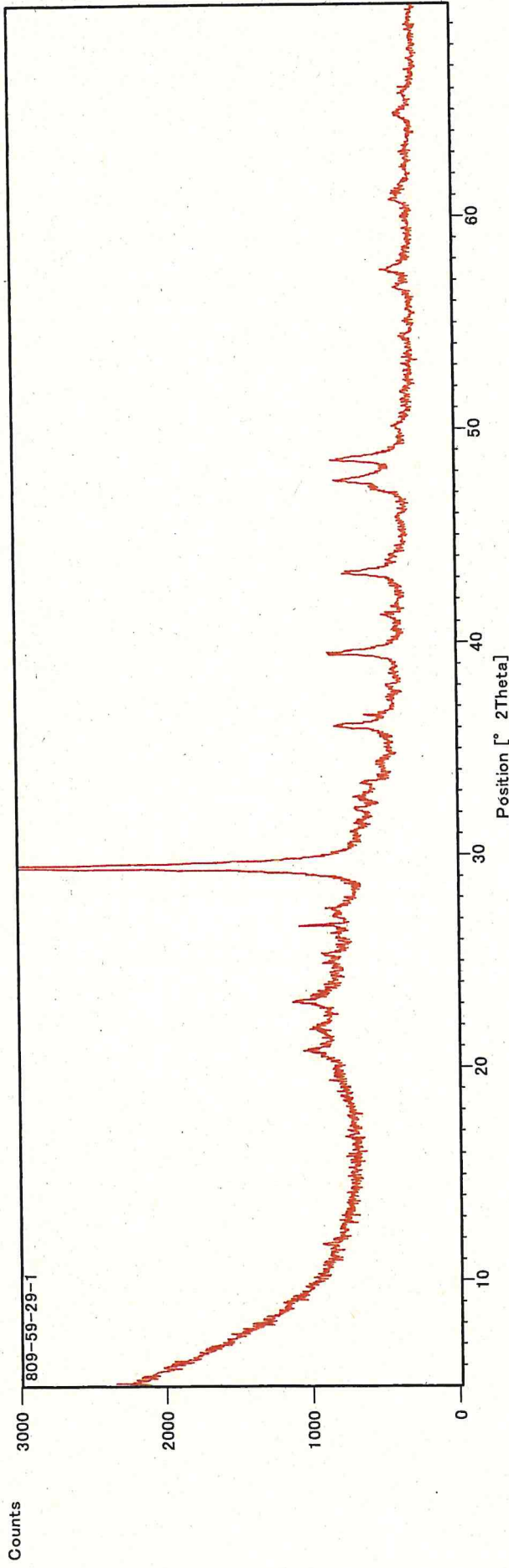
アスベストの種類	位相差顕微鏡 (分散染色法)	X線回折	総合判定
クリソタイル	不検出 ✓	不検出 ✓	含有せず ✓
アモサイト	不検出 ✓	不検出 ✓	含有せず ✓
クロソライト	不検出 ✓	不検出 ✓	含有せず ✓
トレモライト/アクチノライト	不検出 ✓	不検出 ✓	含有せず ✓
アンソフィライト	不検出 ✓	不検出 ✓	含有せず ✓

* 位相差顕微鏡(分散染色法)：検出は3000粒子中に分散色を示す繊維が4本以上であったことを示し、不検出は分散色を示す繊維が4本未満であったことを示す。尚、トレモライト及びアクチノライトは屈折率ごとの分散色による判別が困難であることから、分析上は同一の種類として扱う。

* X線回折：検出はX線回折ピークが認められたことを示し、不検出はX線回折ピークが認められなかったことを示す。尚、トレモライト及びアクチノライトはX線回折パターンによる判別が困難であることから、分析上は同一の種類として扱う。(試料が吹付けパーミキュライトであった場合、パーミキュライトのX線回折ピークの一部がクリソタイル及びトレモライト/アクチノライトのそれと重なる為、X線回折ピークによるクリソタイル及びトレモライト/アクチノライトの判定が不能となる。この場合、吹付けパーミキュライトを対象とした分析方法に従い、試料を塩化カリウム処理した後、再度X線回折を行い、クリソタイル及びトレモライト/アクチノライトの判定を行う。)

5. 添付資料

X線回折チャート 1枚



ピークリスト
Chrysotile
Grunerite, (Amosite)
(Crocidolite), Riebeckite
Tremolite
Anthophyllite
Actinolite